

2020年3月27日

新型コロナウイルスに関する対応について（2）

日東富士製粉株式会社
代表取締役社長 藤田佳久

新型コロナウイルスに関する対応について、本年2月28日にHP上で弊社の感染防止への取組に付きご報告して参りましたが、この1か月間で更に状況が大きく変化してきましたので、下記追記しご報告申し上げます。

追記

1. 敬意と感謝の意を表明します。
最初に、今回の新型コロナウイルスで亡くなられた方々に、衷心より哀悼の意を表します。
そして今まさに、世界中で新型コロナウイルスの感染拡大防止にご尽力なされている全ての皆様（特に自らの危険を顧みず対応を続けておられる医療関係者の皆様をはじめとして、それらの方々を支える医療機器製造会社・物流会社・電力・ガス・水道・通信等のインフラ産業の皆様、そして食糧生産・加工・物流・小売等全ての産業の皆様）に、全従業員を代表し、深い敬意と心からの感謝の意を表します。
2. 弊社の使命と責任を果たします。
私たち日東富士製粉株式会社は、「小麦製粉事業及び、その関連事業を通じて食糧供給の一翼を担い、社会や人々に貢献してゆく企業」であることを企業理念としています。「食糧」は人々の命を繋ぐもの。
弊社だけではなく、日本の各製粉企業の輸入小麦原料は、食糧安全保障の観点から農林水産省のご指導の下、常に2.3ヶ月分の備蓄を保管しています。原料を供給して下さる海外の貿易関係者・港湾関係者も外出禁止令から除外されています。
弊社は、最終消費者製品の製造は殆どしておりませんが、パン・麺・菓子等の各製造会社様、外食・小売業の皆様への、安定的な小麦粉の供給を、今日もしっかりと続けております。全従業員が健康管理に最善を尽くし、「ミル（製粉機械）を止めるな！」を合言葉に、弊社の使命と小麦の安定供給責任をこれからも、しっかりと果たして参ります。
消費者の皆様と一体となり、賢明なる行動で、日本社会の底力、日本社会の品格を、共々に世界に伝えてゆけることを念願しております。
これが私達のオリンピック「東京2020」です。私達は、新型コロナウイルスになんかに、負けません。皆様と共に頑張っ参ります！

以上